

プログラム	NEXT 産業創造	必修・選択	選択	単位	—	時期	夏期
科目群	基礎科目	科目名	起業> コモングラウンド> AI			教員名	西田豊明
		(英文表記)	Entreneuership>Common ground>AI				

概要	AI 技術は今日のビジネスにおいて欠かせない要素となり、計り知れない可能性を秘めている。その可能性を最大限に引き出すには、AI の基本原理、応用例、限界、社会的な側面についての理解が必要である。この講義では、コモングラウンドという視点を軸にして、起業と AI のつながりを探る。							
目的・狙い	AI の基本原理とその活用方法、起業とコミュニケーションの重要性、生成系 AI の概念とその応用について深く理解し、それらを組み合わせてビジネスに活用する能力を育むことを目的とする。							
前提知識 (履修条件)	演習で、Slack と ChatGPT・GPT-4 を使用する。Slack の基本操作ができるようになっていること。事前に、ChatGPT の登録を済ませておくこと。有料版 (ChatGPT Plus, 月 20 ドル, 約 2,700 円) への登録が望ましい。							
到達目標	上位到達目標							
	生成系 AI を操って、コモングラウンドを軸に起業につなげる道筋が具体的にイメージできる。							
	最低到達目標							
	コモングラウンド、生成系 AI、起業がどのように関わるか、理解できる。							
授業の形態	形態		実施	特徴・留意点				
	遠隔授業		4 回	後半は遠隔授業とする。最初の 2 回は座学、最後の 2 回は演習と発表。				
	授業形式	対面講義 (双方向)		4 回	前半は対面講義とする。座学であるが、問題意識を持って臨むこと。			
		実習・演習 (個人)						
		実習・演習 (グループ)						
	サテライト開講授業		—					
その他		—						
授業外の学習	生成系 AI の活用法を探究する。							
授業の内容	コモングラウンド概念を軸に、事業化をコモングラウンドの構築と発展という観点から捉える。ICT と AI でコモングラウンドプロセスを強化する手法を理解し、コミュニケーションの深淵部にも触れる。ChatGPT/GPT-4 を使って、生成系 AI のポテンシャルを引き出す演習を通して、生成系 AI を中心とした現代 AI を事業化に活用する道を探る。							
授業の計画	回数	内容						
	第 1 回	コモングラウンド概念を導入し、コモングラウンドがどう構築され、発展していくか学ぶ。起業とは新しいコモングラウンドを作り、稼働させることであると考えてみることで、事業化のヒントを探る。						
	第 2 回	グループやコミュニティのコミュニケーションを理解し、ICT で強化する基本的な方法を学び、メタバースへの道を展望する。						
	第 3 回	AI 技術を使ったコミュニケーション基盤の強化の観点から、環境知能と会話エージェントの技術開発の流れを俯瞰し、現在の技術レベルを理解する。						
	第 4 回	言語・非言語コミュニケーション、認知科学からの知見について学ぶことで、人と人のコミュニケーションの深層を知り、コモングラウンドの理解を深め、これからの ICT~AI 技術応用のヒントを探る。						
	第 5 回	現代 AI の代表的な手法である、データマイニングの基本手法、ニューラルネット学習を軸にして、現代 AI の基本原理を学ぶ。						
	第 6 回	現代 AI を考えるとき、社会的側面、つまり、人間社会と AI の関係について十分な考察が必要である。ここでは、AI の社会的側面について検討するときの視点を学ぶ。						
	第 7 回	前半では、ChatGPT/GPT-4 を使って創造的なアイデアを作り出す手法を解説する。後半では、ChatGPT/GPT-4 演習を行う。						
	第 8 回	前半では、ChatGPT/GPT-4 演習を行う。後半では、成果発表と簡単な講評を行う。						

教科書・教材	西田豊明. AI が会話できないのはなぜか, 晶文社, 2022.
参考図書	
成績評価	成果発表 (100%)、3 回以上の欠席は認めない。